

HiKOKI

取扱説明書

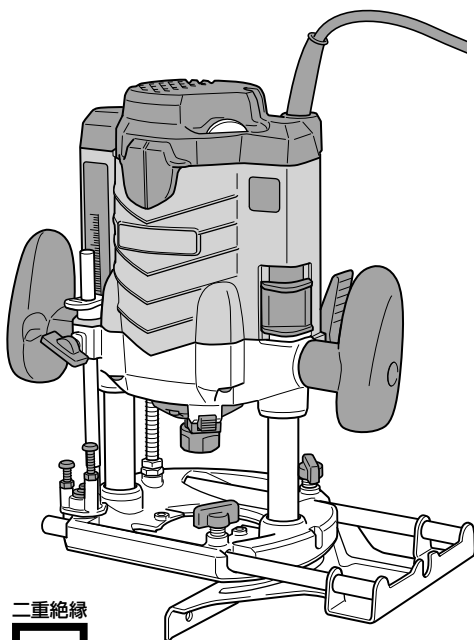
用途

- 各種溝切り、面取り等の木工作業
- フラッシュドアの窓抜き、側面削り
- 各種彫刻、形彫り、継ぎ合わせ等

ルータ

M 12SE M 12VE [無段変速]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



M 12VE

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	5
仕様	5
標準付属品	6
別売部品	7

はじめに

ご使用前の準備	9
ご使用前の点検と調整	10

準備

ビットの取付け・取りはずし	11
切込み深さの調整方法	12
作業方法	13
ストローク上限の設定	14
テンプレートガイドの使い方	15
平行ガイドの使い方	16

使い方

保守・点検	17
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注**の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠ 警告

- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**

騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**

加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**


常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。

警告

- ⑩6 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑩7 不意な始動は避けてください。
●電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
●電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩8 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑩9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
●電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
●常識を働かせてください。
●疲れているときは、使用しないでください。
- ⑩20 損傷した部品がないか点検してください。
●使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
●可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
●損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
●スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
●スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑩21 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑩22 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
●この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
●修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理しますと、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ルータとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

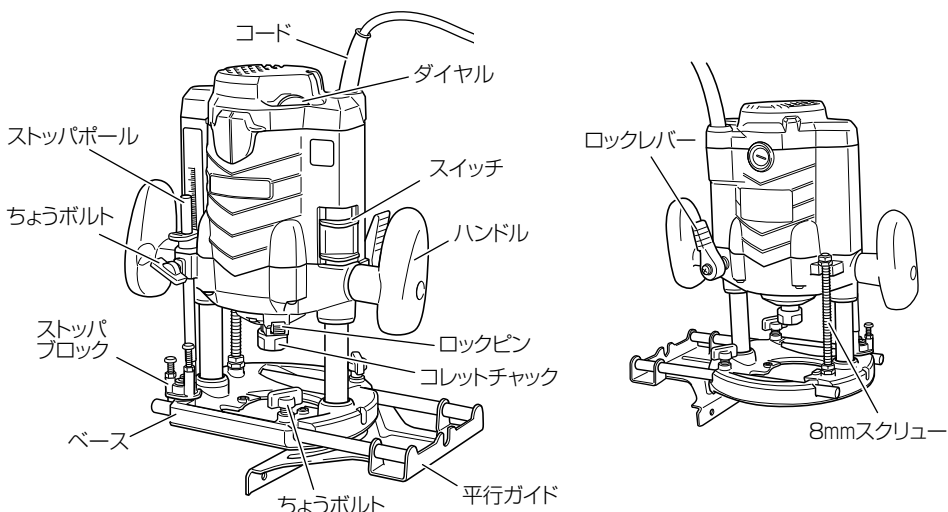
警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **使用中は、両手で本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ **切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。**
台が不安定ですと、けがの原因になります。
- ④ **使用中は、ビットや回転部手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃（ブレード類）や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠️ 注意

- ① ビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② ビットの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
不用意に扱うと、けがの原因になります。
- ③ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
不意の接触などで、けがの原因になります。
- ④ 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑤ ロックレバーをゆるめる際には、本体を立ててハンドルを握ってゆるめてください。
横置きでロックレバーをゆるめると、バネの反動でベースが急に動き、思わぬけがの原因になります。
- ⑥ スイッチを切った後も、惰性で回転しているビットに注意してください。
手などが触れると、けがの原因になります。
- ⑦ 作業直後のビットは高温になっているので、触れないでください。
故障の原因になります。
- ⑧ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
確実にしないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

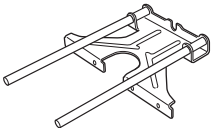

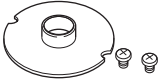





各部の名称



仕 様

形 名	M 12VE	M 12SE
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
コレットチャック穴形	12 mm	
本 体 移 動 量	65 mm	
無 負 荷 回 転 数	8,000-22,000 min ⁻¹ {回/分}	22,000 min ⁻¹ {回/分}
全 負 荷 電 流	15 A	
消 費 電 力	1,430 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質量 (コードを除く)	5.3 kg	
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 2.5 m	

標準付属品

品 名	個 数	品 名	個 数
平行ガイド 	1 個	コレットチャック (12 mm) 【本体装着】 	1 個
テンプレートガイド (M18) 【M5 × 6 ねじ 2 個付】 	1 個	コレットチャック (8 mm) 	1 個
23 mm スパナ 	1 個	チャックスリーブ (12 × 6 mm) 	1 個
ストレートビット (8 × 8 mm) 材質: 超硬 	1 本	ちょうボルト (M6 × 15) 【スプリング付】 	2 個

別売部品

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

ビット

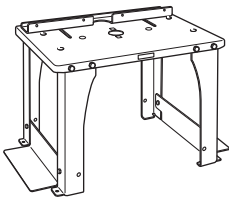
ビットは全て超硬チップ付です。

	<p>①フラッシュビット (両面用)</p>	<p>②フラッシュビット (片面用)</p>	<p>③ストレートビット</p>
<p>④丸面ビット (ギンナン面ビット)</p>	<p>⑤45°トリマビット</p>	<p>⑥タブテールビット</p>	<p>⑦コロ付60°トリマビット</p>
<p>⑧コロ付フラッシュビット (片面用)</p>	<p>⑨コロ付シャクリ面ビット</p>	<p>⑩コロ付45°トリマビット</p>	<p>⑪コロ付丸面ビット</p>
<p>⑫コロ付サジ面ビット</p>	<p>⑬コロ付両段サジ面ビット(A)</p>	<p>⑭コロ付両段サジ面ビット(B)</p>	<p>⑮コロ付ヒラキチョウ面ビット</p>
<p>⑯コロ付ギンナン面ビット(A)</p>	<p>⑰コロ付ギンナン面ビット(B)</p>	<p>⑱コロ付ヒョータン面ビット</p>	<p>⑲コロ付ポーズサジ面ビット</p>
<p>⑳コロ付ヒョータンサジ面ビット</p>	<p>㉑コロ付ヒョータンギンナン面ビット</p>	<p>㉒コロ付横ミソビット</p>	<p>㉓コロ付タブテールビット (両面用)</p>

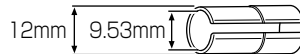
(寸法単位: mm)

品名		呼び寸法			d	D	A	R	B	C	L	品名		呼び寸法			d	D	A	A1	R	B	L
①	フラッシュビット (両面用)	6×6	6	6	16	20	48	76	24	58	86	⑩	ココ付サジ面ビット	2分	6	20	10	—	R6	—	R6	—	40
		8×8	8	8	22								26	12		R9	42						
		12×12	12	12	—								20	10		R3	40						
②	フラッシュビット (片面用)	6×6	6	6	13	20	64	70	24	—	—	⑬	ココ付両段サジ面ビット (A)	2分	20	10	R3	40					
		8×8	8	8	14								26	12	R5	42							
		12×12	12	12	—								20	10	R4	40							
③	ストレートビット	6×6	6	6	6	—	—	—	—	—	—	⑭	ココ付両段サジ面ビット (B)	2分	20	10	R4	40					
		8×8	8	8	20								26	12	R6	42							
		12×10	12	10	25								20	10	—	30	40						
		12×12	12	12	30								26	12	R3.5	40							
		12×13	12	13	—								20	10	R6.5	42							
④	丸面ビット (ギンナン面ビット)	6×R6	6	20	—	—	—	—	—	—	—	⑮	ココ付ヒラキ チョウ面ビット	2分	20	10	—	30	40				
		12×R4.5	12	19	10								R4.5	—	—	40							
		12×R6	12	20	—								R6	—	—	40							
		12×R8	12	24	14								R8	—	—	40							
⑤	45°トリマビット	6×20	6	20	10	—	—	—	—	—	—	⑯	ココ付ボーブサジ面ビット	—	—	20	—	—	27	—			
⑥	ダブルテーブルビット	6×12	6	12	9	—	—	—	—	—	—	⑳	ココ付ヒョータンサジ面ビット	—	31	21	—	—	—	26	47		
⑦	ココ付60°トリマビット	—	—	20	11	—	—	—	—	—	—	㉑	ココ付ヒョータンギンナン面ビット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
⑧	ココ付フラッシュビット(片面)	—	—	10	15	—	—	—	—	—	—	㉒	ココ付横ミソビット	6×8	—	6	8	—	—	—	—	55	
⑨	ココ付シャクリ面ビット	—	—	26	—	—	—	—	—	—	—	㉓	ココ付横ミソビット	4.5×6.5	—	28	4.5	6.5	—	—	—	—	
⑩	ココ付45°トリマビット	2分	6	20	10	—	—	—	—	—	—	㉔	ココ付ターレットビット(両面用)	3×4.5	—	15	13	—	—	—	30	43	
⑪	ココ付丸面ビット	2分	—	21	10	R6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		3分	—	28	14	R9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

ルータ用ベンチスタンド TR 12-B

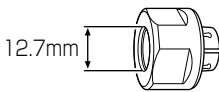


12 × 9.53 mm (3/8") チャックスリーブ
軸径 9.53 mm のビットを使用するとき、
ご利用ください。



12.7 mm (1/2") コレットチャック

軸径 12.7 mm のビットを使用するとき、
ご利用ください。



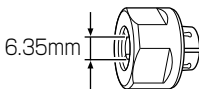
ルータ用集じんアダプタ

ベースに取付け、電動工具用
集じん機に接続します。取付
け方は、部品に付いている取
扱説明書をお読みください。
なお、電動工具用集じん機に
ついては、お買い求めの販売
店にご相談ください。

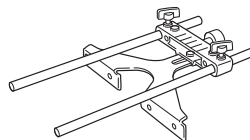


6.35 mm (1/4") コレットチャック

軸径 6.35 mm のビットを使用するとき、
ご利用ください。



ストレートガイド



ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合



延長コードは損傷のないものを用意してください。

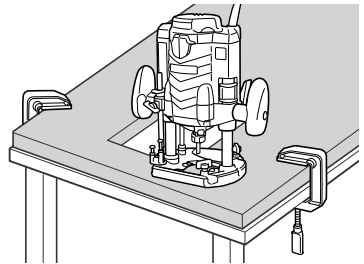
電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

●安定した作業台（木製）を用意します

材料をバイスなどで固定するなどしてしっかり押さえ、両手で本体を確実に保持できるようにしてください。



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前の点検と調整

⚠ 警告

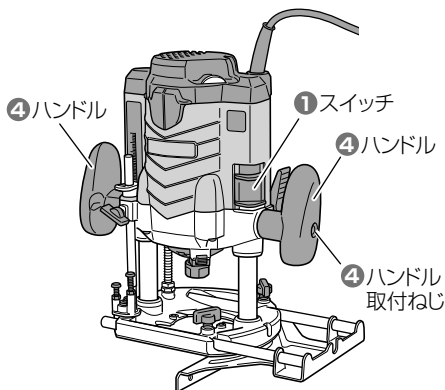
使用前に次のことを確認してください。手順①、②、④については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているの知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

スイッチはON側を押すと入り、OFF側を押すと切れます。

スイッチがOFF側に押されていることを必ず確認してください。



2 電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3 コンセントを確かめる

コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。

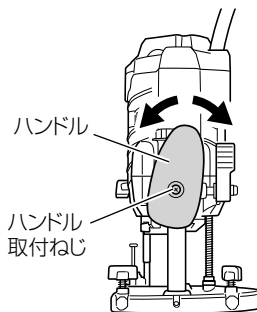
そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

4 ハンドルの取付け角度を調整する

ハンドルの取付け角度を3段階に調整できます。

作業しやすい角度に合わせてください。

- ① ハンドル取付ねじをお手持ちのプラスドライバーでゆるめます。
- ② 取付け角度を調整します。
- ③ ハンドル取付ねじを締付けます。



準備

ビットの取付け・取りはずし

警告

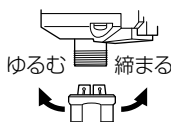
- ビットの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ事故の原因になります。
- コレットチャックの締付けは付属の23 mm スパナで作業してください。付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

軸径 12 mm のビットを使う場合

工場出荷時、本体にはコレットチャック(12 mm)が装着されています。お手持ちの12 mm ビットを使う場合は、そのまま取付けてください。

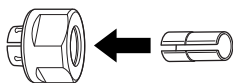
軸径 8 mm のビットを使う場合

付属の8 mm ストレートビットなど軸形8 mm ビットを使う場合は、付属のコレットチャック(8 mm)を使用します。工場出荷時、本体に装着されているコレットチャック(12 mm)を取りはずし、付属のコレットチャック(8 mm)を取付けてください。



軸径 6 mm のビットを使う場合

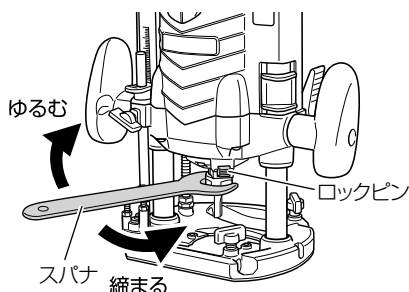
お手持ちの6 mm ビットを使う場合は、付属のチャックスリーブ(12 × 6 mm)を使用します。工場出荷時、本体に装着されているコレットチャック(12 mm)に付属のチャックスリーブ(12 × 6 mm)をさし込んでから6 mm ビットを挿入してください。



- 注**
- コレットチャックは、必ずビットを入れてから締付けてください。ビットを入れずに締付けると、コレットチャックが変形し、ビットが入らなくなることがあります。
 - コレットチャックの締付け・ゆるめのあとにロックピンが元の位置まで戻っていることを確認してください。ロックピンがアマチュアシャフトと噛み合った状態では、ロックピンやアマチュアシャフトを破損する恐れがあります。

ビットの取付け

- 1 ビットの底が突当るまでコレットチャックにビットをさし込み、2 mm くらい戻します。
- 2 ビットが入った状態でロックピンを押しながら、付属の23 mm スパナを使ってコレットチャックを固く締付けます。



ビットの取りはずし

ロックピンを押しながら、コレットチャックを付属の23 mm スパナでゆるむ方向にまわして、ビットを引き抜きます。

切込み深さの調整方法

スケール（目盛り）を使う場合

スケールを使って切込み深さを調整します。

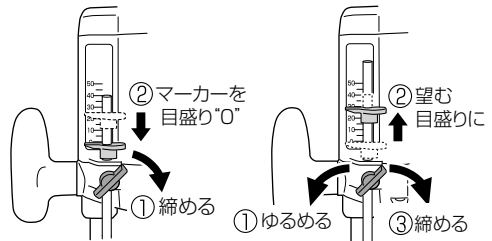
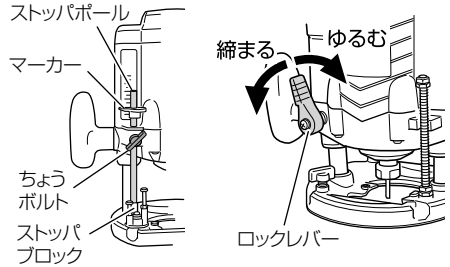
- 1 ルータを平らな材料の表面に置きます。ちょうボルトをゆるめ、ストップポールをストップブロックに当てます。
- 2 ロックレバーをゆるめ、ビットの先端が材料の表面に軽く当たるまで本体を押し下げます。この位置でロックレバーを締付けます。
- 3 ちょうボルトを締付け、マーカを目盛り"0"に合わせます。ちょうボルトをゆるめます。望む切込み深さの目盛りにマーカが合うようにストップポールを上げてちょうボルトを締めます。
- 4 ロックレバーをゆるめて、ストップポールがストップブロックに当たるまで本体を押し下げますと、所要の切込み深さが得られます。

ストップブロック

ストップブロックにより、あらかじめ3種類の切込み深さを設定できます。たとえば45mmの切込みを15mmづつ3回に分けて作業をすることが多い場合、ブロック高さを15mmづつ変えておくことで効率よい作業ができます。

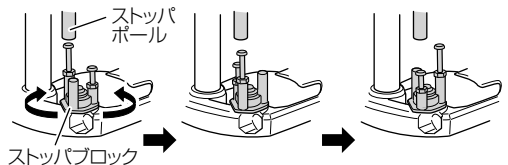
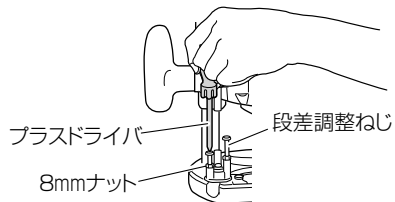
- 1 最も深い切込み深さの調整は、ねじが付いていないブロックで行います。切込み深さの差が段差調整ねじの段差と等しくなるように、2つの段差調整ねじの高さをお手持ちのプラスドライバーで調整します。
- 2 調整後、段差調整ねじがゆるまないように8mmナットがブロックに密着するまで、お手持ちのレンチで締付けてください。
- 3 ストップブロックを回転させ、段差調整ねじの高い方から順にストップポールをあてて加工します。

注 スケールを使わないで切込み深さを調整するときは、ストップポールがじゃまにならないように、上にあげておいてください。



注

- 切込み深さが深いと、本機の操作が困難になったり、モーターに過負荷がかかります。
- 溝切りの場合、1回の切込み深さは、20mm以下にしてください。
- 深い溝を加工する場合は、2～3回に分けて加工してください。



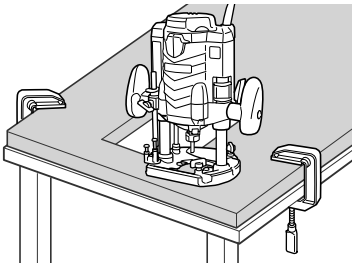
作業方法

⚠ 警告

- 作業中は、保護メガネを使用してください。
- 作業中は、ビットや回転部に手や顔などを近づけないでください。
- テンプレートガイド、平行ガイドの取付け・取りはずしの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

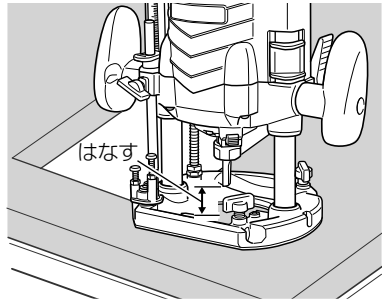
1 材料の上にルータを置く

安定した作業台（木製）を用意して材料をのせます。
材料をバイスなどで固定するなどしてしっかり押さえます。
ルータを静かに置いて、台や材料にがたつきがないことを確認します。



2 スイッチを入れる

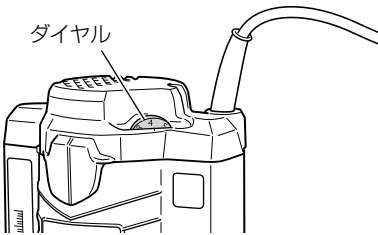
スイッチを入れるときは、ビットを材料からはなした状態で入れます。
スイッチを入れて、ビットの回転が安定してから作業を開始します。



回転速度の調整【M12VEのみ】

M12VEには回転速度を変えられる速度調整機能を備えています。
ダイヤルが「1」のときは最小回転速度で、「6」のときは最大回転速度となります。

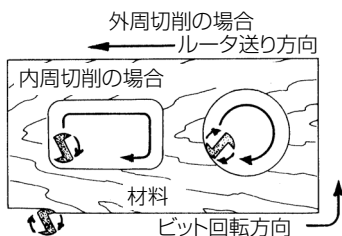
ダイヤル



- 注**
- 古いビットで深い切込み量の溝切り作業を行うと、高い切削音が生じる場合があります。このような場合は、新しいビットに取替えてください。
 - 溝切り作業を行う場合、1回の切込み深さは20mm以下にしてください。
深い切込み作業は本体の操作が困難になったり、モーターに負荷をかけ故障の原因になります。

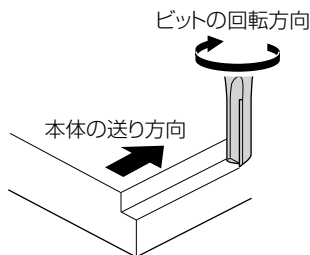
3 切削する

ビットは時計方向（ベースの矢印方向）に回転します。
ルータの送り方向は下図の方向に合わせて、ご使用ください。
滑らかな切削面が得られます。



⚠注意

材料の側面を加工するときは、本体の送り方向に向かって加工面がビットの左側に来るようにしてください。
逆方向に本体を送ると大きな反発を受け、けがの原因になります。



ストローク上限の設定

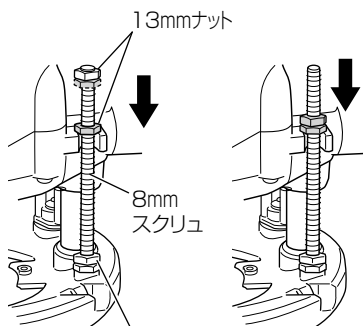
8 mm スクリューに付いているナットの締め付け位置を変えることによって、ストローク（上下移動）の上限を設定することができます。
ビットの先端がベース面より必要以上に上がるときは、ナットの位置を下げ、本体の上限を下げれば、能率的な作業が行えます。

- 注**
- 本体が上限位置でビットが材料にさわらないことを確認してください。
 - ベース側に付いているナット2個は8 mm スクリューをベースに固定するための物です。ゆるめないでください。
- また、時々点検して、ゆるんでいたら、締直してください。

1 ビットが材料に触れない余裕ある位置まで本体を押し下げます。

2 8 mm スクリュー上方に付いている13 mm ナットの下側を本体のナット突当て面までお手持ちのスパナで移動させます。

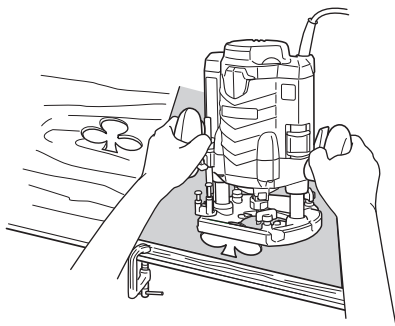
3 上側の13 mm ナットを移動させ、先に移動したナットに密着するようにしっかり締めます。



注：ベース側のナット2個はゆるめないでください。

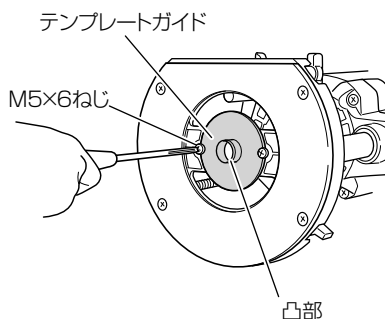
テンプレートガイドの使い方

テンプレートとは型板、ならい型のことで、ベニヤや薄い板で作ります。テンプレートガイドは、テンプレートを用いて同じ形状のものをたくさん加工するときに使います。



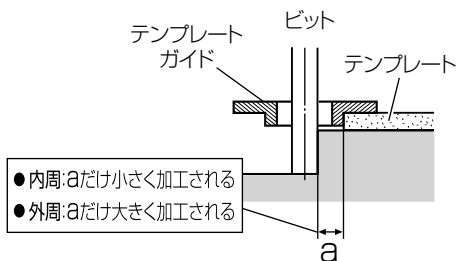
取付け方

テンプレートガイドの凸部をベース底面側に出して、ベースに2個のM5 × 6ねじで取付けます。



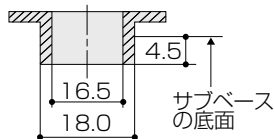
使い方

テンプレートの内周に沿ってルータをご使用になった場合は、テンプレートガイドからビットの端までの寸法だけテンプレートより小さく仕上がります。テンプレートの外周に沿ってご使用になった場合は、その逆に大きく仕上がります。



【参考】

標準付属のテンプレートガイド (M18) は下図の寸法になっています。
(単位: mm)



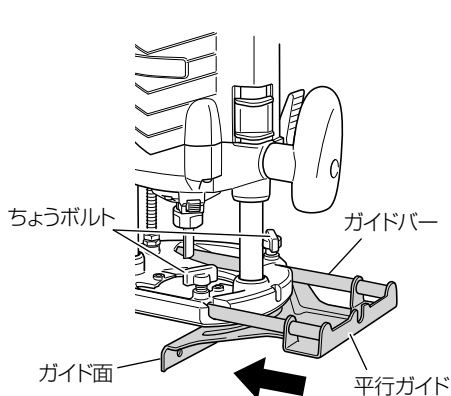
平行ガイドの使い方

材料に沿って面取り、溝切り等の加工にご使用ください。

注 平行ガイドは、本体の送り方向に対して必ず右側に取付けてください。

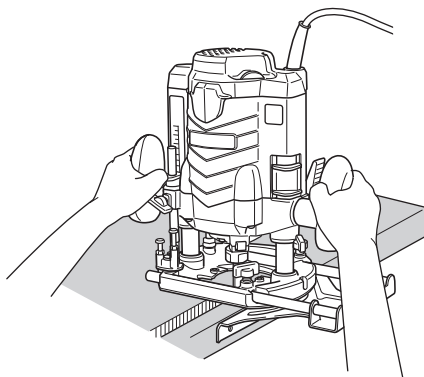
取付け方

ガイドバーをベースの穴にさし込み、ビットからガイド面までの距離を調整して、しっかりとちょうボルト(2個)で締付けます。



使い方

材料加工面にサブベース下面を密着させ、ガイド面を材料に沿わせてご使用ください。



保守・点検

警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ビットの点検

摩耗したビットをそのまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締直してください。
そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱いについて

モーター部 (P.5 各部の名称参照) の巻線は本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

- 注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>